

大阪薬科大学報

78

2019年(平成31年)
2月20日発行

平成最終号



平成最終号

今回の学報が平成最後の発行となりますので、平成を振り返る特集を盛り込みました。

カテゴリ	内 容	掲載ページ
挨拶	学長挨拶	03
連載	応援隊長だいやくんの「大薬の足跡を追いかける！」	04-06
報告	本学と関西大学、大阪医科大学が医工薬連環科学分野で連携協力・推進協定を締結	07
	第14回三大学医工薬連環科学シンポジウム	
	・医工薬連環科学教育研究機構ニュースレター	
	三大学医工薬連環科学教育研究機構の活動状況(その15)	08
	大学間(旧5大学)連携事業の活動状況	
	がんプロ事業活動報告	09
キャンパスニュース	・大阪薬科大学の国際交流 ・「薬大ガーデンキッチン」人気のキッチンカーが薬大に集合！	10
	・「関西薬連・全国薬連大会」結果(平成30年度) ・第14回大阪薬科大学特待奨学生表彰 ・平成30年度 大阪薬科大学特待奨学金 表彰者一覧	11
	学生相談室だより / 教務課だより「平成30年度学位授与」	12
	・平成30年度FD委員会活動報告 ・2018年度学術交流・研究推進プロジェクトについて	13
	・大阪薬科大学シーズ集2018 ・平成30年度実験動物慰霊祭 ・平成30年度大阪薬科大学生涯学習事業を終えて	14
	2018年度 大阪薬科大学 生涯学習事業	15-16
	2019年度 生涯学習事業予定	16
	キャリアサポート課だより	17
	・オープンキャンパス 報告	18
	クラブ紹介「大阪薬科大学ラグビー部」	19
連載	OB・OGの活躍	20-21
	クローズアップYAKUDAI The 平成	22-23
連載	大薬にまつわるエトセトラ The 平成	24-25
報告	安全保障輸出管理体制について	26-27
キャンパスニュース	・D棟講堂・体育館改修工事 ・本学の社会貢献活動 ・地域連携 ・防災訓練の実施について	28
	・メディアへの掲載・放送等(平成30年6月～) ・人事 ・寄付 ・震災復興支援募金(平成31年1月15日現在)	29
	フロムLibrary / こちら広報室	30
	・献血者の推移 / 編集後記	31
	薬用植物の紹介「ノイバラ」 / 2018年度 後期行事予定 / 2019年度 前期行事予定表	巻末



大阪薬科大学は、2016(平成28)年度に一般社団法人薬学教育評価機構の認証評価を受け、同機構の評価基準に適合していると認定されました。



本学は公益財団法人大学基準協会による2011(平成23)年度認証評価の結果、2012(平成24)年3月9日付で同協会の定める大学基準に適合しているとの認定を受けました。

Message from the President

学長 政田 幹夫



2018年12月末で一期目の学長の任期である4年が終了しました。昨年11月2日の大阪薬科大学教員による意向投票、11月13日の学校法人大阪医科薬科大学の理事会により二期目任期2年の学長を2019年1月1日付で拝命しました。

2015年1月学長就任以来、大学の使命である教育・研究に関し、特に新制度の薬学教育における生き残りをかけた優位性、他大学との差別化を模索してきました。我国の薬学教育は先進欧米諸国に肩を並べるべく、2004年学校教育法ならびに薬剤師法が改正され、2006年度入学生より薬学教育6年制が取り入れられました。さらに2018年度入学者からは6年制卒業生のみならず薬剤師国家試験受験資格が与えられることになりました。

一方、2018年7月に開催された厚生科学審議会(医薬品医療機器制度部会)で「薬剤師職能」「医薬分業」「薬局の役割」等について、医療関係者のみならず患者代表からも疑問の声が上がり、ひいては薬学・薬剤師教育の在り方が問われています。

世間一般にも教育改革が叫ばれる昨今、薬学教育現場においても医療人としての育成、総合的な人間力ならびに薬学士としての基盤の上に専門領域の知識・技能を積み上げていかねばなりません。さらに、臨床の

場における体験型の実務実習教育が必須とされ、教育者側も質の向上のためFD(Faculty Development)・SD(Staff Development)研修を積極的に取り入れ教育制度改革の先行に現場が追い付く必要があります。

2015年新コア・カリより学習成果基盤型教育が取り入れられ、10項目の薬学教育最終到達目標も設定され、チーム医療への参画、薬物療法における実践能力、保健・医療における実践能力等といった資質を醸成するには単一科目担当制では難しく、薬学のみではなく医療に関わる他職種を含めた教育・研究体制の構築が求められる時代となりました。

本学は学校法人大阪医科薬科大学としての特色を十分に生かした医学・薬学・看護学の専門職連携教育(Inter Professional Education : IPE)に力を注ぎ、「命の尊さ」「高い生命倫理観」を修得した薬学臨床家として、薬学・生命科学研究者として育てる教育を目指し、新時代の薬学に向けた改革を進め、今後の薬学教育の模範と成る大学創りを志向します。日本の薬学教育・研究のNo.1&Only1を念頭に、学部生・大学院生・教職員が一丸となり、より一層の高みを目指した大学創りを果たす所存です。

応援隊長だいやくんの

大薬の足跡を追いかける！



阿部野編：目指すは日本初の女子薬学専門学校

【前回までの経緯】

明治37(1904)年に道修町に誕生した大阪道修薬学校は、その後、生徒数の増加に伴って南久太郎町へ移転しますが、借地であったために立ち退きを迫られ、再び移転を余儀なくされます。大阪府東成郡天王寺村大字阿部野に新校舎建設中の期間は、大阪市東区東高津の伝光寺の本堂を仮校舎として借り受け、生徒たちは新校舎完成までの半年間、ここへ通うこととなりました。

■廃校宣言

晴れて新校舎が完成した大正9(1920)年6月15日、大阪道修薬学校は伝光寺の仮校舎から阪堺電車・東天下茶屋駅から程近い大阪府東成郡天王寺村大字阿部野147番地(現 大阪市阿倍野区晴明通5番)へ移転を果たします。新築とはいえ、この土地も借地であったことが残された資料により判明しています。

移転以前の大正2(1913)年9月に文部省(当時)より「薬剤師試験ハ中学校若クハ修業年限4カ年以上ノ高等女学校ノ卒業生又ハ之ト同等以上ノ学力ヲ有スルモノニシテ、修業年限3カ年以上ノ薬学校ヲ卒業シタモノニアラザレバ、之ヲ受ケルコトヲ得ズ」という薬剤師試験受験資格変更に関する通達がありました。その付則には「本令ハ大正10年10月1日ヨリ之ヲ施行ス」とあり、施行までには8年の準備期間が設けられていましたが、この施行によって中学卒業の学歴なしでは薬剤師免許を得ることができなくなり、大阪道修薬学校設置時の「中学校に上がることなく店員として薬業界で働く若者に薬剤師の資格を持たせてあげたい、そのための予備教育を受けさせてあげたい」という目的が果たせなくなってしまいます。また、この改正は薬学校が専門学校に昇格する

ことを迫られるような内容でもありました。現行の男子部をこの新制度に対応したものにするには経営上困難なことであり、このような危機感と経営難が背景にある中、まだ新校舎が完成前であった大正9(1920)年4月、女子部のみを新制度(入学資格は高等女学校以上、修業年限3年)に移行することを決め、同時に設立から続いていた男子部の募集を一旦停止して新しいスタートを切りました。しかし苦境は続き、翌大正10(1921)年7月、平山校主はついに廃校を宣言するのです。



阿部野校舎見取り図



阿部野校舎

廃校の危機があったとは！

■救世主現る

廃校を宣言した平山校主は大学を去り、富山薬学専門学校長として赴任します。この学校存亡の危機を救ったのは平山松治氏、大島太郎氏と共に大阪道修薬学校を設立した功労者の1人であり、設立時から教務・校務を担当しながら物理学・化学・分析学を教えていた秋山卓爾氏でした。秋山氏は廃校宣言を断固拒否し、大正10(1921)年8月より2代目校主となって廃校の危機を何とか乗り切ろうと新しい道を切り開きます。まず、新制度への対応として、募集停止状態であった男子部を同年9月の第36回卒業式を最後に廃止を決め、翌10月には中学卒業者を対象とした3年制の男子部を発足させます。さらに、翌大正11(1922)年には4年制の男子夜間中学である普通部も発足させます。この普通部は男子薬学部

への入学生を確保するために設置したと思われますが、男子薬学部はたった1回の募集を行っただけで、大正13(1924)年9月卒業をもって終了してしまいます。しかし、普通部は大正15(1926)年まで存続しているので、男子薬学部廃止後の普通部の目的が不明確ではあります。もしかすると、大阪道修薬学校が設立される前から既に男子薬剤師養成を目的として存在していた大阪薬学専門学校(旧大阪薬学校、後の大阪大学薬学部)の方へ入学することを目的としていた者があったのかも知れません。大正12年当時には男子薬学部の募集が終了していたにもかかわらず、普通部に219名もの在校生がいたようですので、何か別の目的があったことも考えられますが、残念ながらそれを解明する資料が残っていません。

■大正12(1923)年12月現在の在籍数

男子薬学部(3年制)	20名
女子薬学部(3年制)	195名
普通部 (4年制・男子夜間中学)	219名



阿部野校舎と女子薬学部第1回卒業式当日



秋山校主は、男子の薬学教育を断念し、女子の薬学教育一本に絞って、専門学校への昇格を目指すことを決めます。そのことは新制度による3年制の女子薬学部の第1回卒業生を輩出した大正12(1923)年に配布された「道修女子薬学専門学校設立趣意書」によって明らかです。この頃、新校地の獲得、新校舎の建設、財団設立の基本金づくり等、女子薬学専門学校設立の準備のために多額の資金を要したことは間違いありません。秋山校主もエツ夫人と共に卒業生や在校生の自宅に足を運び、直接父兄に寄付の依頼をするなど、寄付金集めに東奔西走します。女子薬学専門学校への昇格が認可されれば、それは日本初の女子薬学専門学校の誕生となります。そのことが皆を奮い立たせていたのかも知れません。そんな中、山内竹三郎、山本宗一郎、西川熊太郎といった財産家と知り合い、彼らからの援助を受けるなどして、大阪府北河内郡守口町大字土居309番地(現在の守口市梅園町82番地)に新校舎建設のための広大な土地を得ることができました。大正12(1923)年12月に新築工事に着工し、翌大正13(1924)年9月には普通部を阿部野校舎に残し、女子薬学部のみが守口校舎へと移ることとなり、時代は守口時代へと突入します。この後、資金調達の方も努力の甲斐があって、財団法人設立に必要な基本金10万

円を達成し、1925(大正14)年1月17日、財団法人道修女子薬学専門学校設立の認可を受けることができたのです。

以下、次号の守口校舎編へ続く。

■年表【阿部野時代】

大正9(1920)年4月	3年制の女子部発足
大正9(1920)年4月	大阪府東成郡天王寺村大字阿部野147番地へ移転
大正10(1921)年7月	廃校宣言
大正10(1921)年8月	秋山卓爾が2代目校主となる
大正10(1921)年9月	第36回卒業式をもって男子部廃止
大正10(1921)年10月	3年制の男子部発足
大正11(1922)年4月	普通部発足
大正12(1923)年12月	北河内軍守口町大字土井に新校舎新築着工
大正13(1924)年9月	女子薬学部のみ守口校舎へ移転 (男子部は阿部野校舎に留まる)
大正14(1925)年1月	財団法人道修女子薬学専門学校設立認可

■阿部野校舎のその後

大正13(1924)年9月に女子薬学部のみ守口校舎へ移転し、男子夜間中学である普通部は阿部野校舎に留まりました。その後、普通部は大正15(1926)年3月をもって廃止となり、建物は家主に返納され、そのまま精華実践女学校(後の精華女子高校)に引き継がれることとなりました。現精華高校の記念誌にも「開校当時の校舎は、大阪薬科大学の前身、大阪道修薬学校のものを使用した」と記されています。

大正10年当時の地図には「文」マークと「大阪道修薬学校」の文字が確認できる
大阪市立図書館所蔵「阪南郊外精図」より



昭和33年まで使用されていた大阪精華女子高校木造校舎 写真提供:精華高等学校

精華女子高校校舎は、道を挟んで南北に校舎が分かれています。写真の左側が南校舎で所在地は晴明通5番、道を挟んだ右側が南校舎で所在地は晴明通4番となっていました。左記の地図から読み解くと大阪道修薬学校があった場所は、晴明通5番の南校舎のあった場所だと推察されます。



写真提供:精華高等学校



現在、北校舎があった場所はマンション、南校舎のあった場所は宗教団体の施設が建っています。



ちょっとブレイク

馬が引っ張る鉄道があった

阿部野校舎は、阪堺電車「東天下茶屋」駅から西へ徒歩5分程度の場所にありましたので、交通至便な場所であったといえるでしょう。

学校が阿部野校舎へ移転したのは大正9(1920)年のことですが、そこからさかのぼること20年前の明治33(1900)年、天王寺西門前から東天下茶屋間に馬車鉄道が開通しました。その名の通り、レールに乗った車両を馬車が引っ張り、鉄道代わりに走っていたようです。利用客は多く、2年後には下住吉まで延伸されましたが、明治41(1908)年に馬車鉄道は廃止され、明治43年(1910)年からは住吉前

まで電化されての営業が始まり、現在の阪堺電気軌道上町線へと変わっていき、今でもチンチン電車として親しまれています。

当時、馬車による路線は全国でたくさんあったようなので、珍しいものではなかったようですが、現代人にとっては驚きですね。

馬車鉄道が走っていた証として、「東天下茶屋」駅の構内に「馬車鉄道跡」の石碑が建っています。



▲馬車鉄道風景(山田小三郎氏画)

◀東天下茶屋駅に建つ石碑

番外編

神農祭へ行って来ました

神農祭とは？

毎年、11月22日・23日に大阪・道修町の少彦名神社で行われる家内無病息災を願うお祭り。

少彦名神社のご祭神は「少彦名命(すくなひこなのみこと)」という日本医薬の祖神で「神農さん」とも呼ばれています。

今年もだいやくんは神農祭へ出かけました。

去年より23日遅い木枯らし1号が吹いた11月22日、大阪は朝から曇り空で小雨もぱらつくあいにくのお天気で、時折吹く突風で道修町通りの両脇に並んだ露店も難儀している様子が窺えました。2日間で参拝者は6万人を数えたそうです。

ラッパのマークの
正露丸さんと記念撮影



国試合格祈願の
絵馬を奉納しました▶



◀露天が立ち並ぶ道修町通



▼参拝客でにぎわう境内



本学と関西大学、大阪医科大学が医工薬連環科学分野で連携協力・推進協定を締結

このたび、本学、関西大学及び大阪医科大学は、3大学間で構築してきた医学・工学・薬学・看護学を融合した「医工薬連環科学」分野における教育・研究・社会貢献事業等において、3大学が保有するリソースを活用し、より密接かつ高度な相互協力を推進していくことで合意に達し、12月25日に大阪医科大学において調印式を執り行いました。

本協定は、2009年度に採択され、以降10年間継続してきた文部科学省「大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム」事業を発展させ、新たなステージへと進むために締結するもので、共同で組織する「三大学医工薬連環科学教育研究機構」を拠点として、様々な活動を展開します。



第14回三大学医工薬連環科学シンポジウム

第14回三大学医工薬連環科学シンポジウムは「地域の教育環境整備における医工薬連環科学の今後を語る」をメインテーマとして、2019年1月19日(土)に大阪医科大学において開催しました。

基調講演として本機構の機構長である関西大学・倉田純一准教授より「医工薬連環科学の10年を振り返って」をテーマに10年間のプロジェクトの総括についてご講演いただいた後、各分野の取り組みの現状報告がありました。

今回は特別講演として濱田剛史 高槻市長より「大学と連携した高槻市のまちづくり」について、具体的な事例を挙げながらご講演いただきました。

高槻市のよりよいまちづくりに対する取り組みを市長自らの言葉で聴くことで熱意が伝わり、今後の高槻市がどのように発展していくのか期待感が膨らみ、貴重な機会となりました。



高槻市・濱田市長の講演



関西大学 倉田准教授

医工薬連環科学教育研究機構 ニュースレター

「医工薬連環科学教育研究機構ニュースレター」は、活動報告などの情報を掲載し、2010年3月に創刊したもので、現在、第11号まで発行されています。



三大学医工薬連環科学教育研究機構の活動状況(その15)

准教授(特任) 銭田 晃一

平成21年度文部科学省「大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム」に採択され、始まった関西大学・大阪医科大学・大阪薬科大学 医工薬連環科学教育研究機構は今年度まで10年間にわたり、三大学の学生に向けては他学部・異分野理解のための教育活動や、高槻市など地域への社会貢献活動に取り組んできました。遠隔講義システムを用いた双方向講義にて、前期は「医工薬連環科学」を三大学の教員が各大学からオムニバス形式にて配信し、本学2年次生49名、関西大学26名、大阪医科大学108名、芝野先生の「基礎漢方薬学」を10名の関西大学生が受講しました。後期は本学からは大桃先生の「応用放射化学」、大野・藤森・尾崎先生の「機能形態学1」を関西大学へ配信、大阪医科大学の「生命誌」、関西大学の「福祉工学概論」を受信し、本学は「生命誌」29名、「福祉工学概論」106名が受講しています。また、「応用放射化学」の実習として、12月8日(土)には大阪府立大学放射線研究センターを訪問し、本学から2名、関西大学から5名の学生がコバルト60照射施設などを見学しました。12月15日(土)には「機能形態学1」を受講している関西大学生4名の希望者を対象に大野行弘 教授、清水佐紀 助教指導の下、本学C301実習室にて中枢神経系の講義とマウスを用いた実習を実施しました。

社会貢献事業の一つとして実施している高槻市在住および高槻市内の学校に通う小・中学生対象の「自由研究コンテスト」は平成22年度から開始し、今年度が9回目となりました。初年度230件であった応募数は今年度738件と過去最多となりました。その中から第一次審査を通過した作品のうち28作品の発表・第二次審査会を11月18日(日)関西大学高槻ミューズキャンパスにおいて開催し、優秀な発表10名の入賞者に対して各大学賞や高槻ロータリークラブ

賞などを、入選者全員に賞状と記念品を授与しました。

平成21年に締結された本機構の協定の有効期間が10年間であるため新たに協定を締結し、2019年4月発効される「関西大学・大阪医科大学・大阪薬科大学医工薬連環科学教育研究機構規程」には学際領域での研究推進も盛り込まれ、大学の3大使命とされる教育・研究・社会貢献において三大学間の発展的な連携関係の構築を目指すこととなりました。



「自由研究コンテスト2018」

大学間(旧5大学)連携事業の活動状況

大学間(旧5大学)連携事業担当 井上 晴嗣

本年度から、「大学間連携による臨床医工学・情報学高度人材育成事業」と名称を変更して再出発した大学間(旧5大学)連携事業では、武庫川女子大学、大阪電気通信大学、大阪薬科大学、藍野大学、森ノ宮医療大学の5大学が、医療・福祉・工学・情報学など複数分野にわたる融合領域の人材を育成するために、「理系女性のキャリアパス設計論」、「多職種協働グループワーク実践論」、「地域活性化システム論」、「生命科学と倫理をめぐる知性と感性」、「プレプロフェッショナル教育」の5つのプログラムを開講しています。そのうち、「理系女性のキャリアパス設計論」、「プレプロフェッショナル教育」の理系英語入門と臨床医工学入門は5・6月の土曜日に本学で開講されました。ただし、「理系女性のキャリアパス設計論」の最終授業は、6月18日の大阪北部地震の被害により開講場所が武庫川女子大学に変更されました。「理系女性のキャリアパス設計論」では、薬剤師・看護師などのキャリアパスについての講演やマナー講座を通して社会人基礎力を向上させるとともに、グループディスカッションで、理系を専門とする女性が今後どのようにス

キルアップするか、自分たちは卒業後どのような社会人になりたいかを発表しました。また、武庫川女子大学で開講された「地域活性化システム論」では、ららぽーと甲子園と連携し、フィールドワークや毎回のグループディスカッションを通して、「健康」をキーワードにしたイベントを各グループで企画しました。2019年2月16・17日には、受講生有志が実際にららぽーと甲子園でイベントを出席することになっています。残念ながら後期再試験の時期と重なるので本学の学生は参加しませんが、受講生にとっては良い思い出として記憶に残る体験となるでしょう。



がんプロ事業活動報告

■文部科学省「多様な新ニーズに対応する『がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)』養成プラン」事業 活動報告

文部科学省は、平成29年度に「多様な新ニーズに対応する『がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)』養成プラン」として第3期のがんプロ関連事業を開始することになり、本学は、大阪大学を拠点とする関西7大学の課題「ゲノム世代高度がん専門医療人の養成」に採択され、「ゲノム医療に精通し、重篤副作用の回避と疼痛の調節を行えるがん専門薬剤師の養成」を分担課題にして活動を開始しました。このがんプロ事業の一環として、定期的に公開シンポジウムを開催することとしています。平成30年度は、以下のとおり、公開シンポジウム、教育講演会を開催し、いずれも盛況でした。

公開シンポジウム

■第16回公開シンポジウム

開催日	平成30年8月26日(日)
場 所	関西大学梅田キャンパス
メイン テーマ	「進化する新しいがん治療において、薬剤師は医療者としてどのようにがん患者に向き合うか？」
講 演	「低悪性度リンパ腫に対するゼヴァリン療法の位置づけ」 大阪国際がんセンター 血液内科 主任部長 石川 淳 先生 「脳腫瘍のホウ素中性子捕捉療法」 大阪医科大学 脳神経外科学教室 准教授 川端 信司 先生 「薬剤師がつなぐ、がんチーム医療ー安全ながん化学療法への取り組みー」 神戸市立医療センター中央市民病院 薬剤部長代行 室井 延之 先生

■第17回公開シンポジウム

開催日	平成30年12月9日(日)
場 所	第二吉本ビルディング貸会議室
メイン テーマ	「抗がん薬Up to Date」
講 演	「抗PD-1抗体の光と影」 小野薬品工業株式会社 開発本部 メディカルディレクター、がん薬物療法専門医 瀬波 良信 先生 「コンパニオン診断Up to DateとPARP阻害薬オラパリブについて」 大阪薬科大学 循環病態治療学研究室 准教授 加藤 隆児

教育講演会(FD委員会と共催)

開催日	平成30年9月13日(木)
場 所	大阪薬科大学D302講義室
講 演	「PD-1とがん、そして自己と非自己の識別」 奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス領域 准教授 石田 靖雅 先生



第16回公開シンポジウム



2018年教育講演会

■大阪薬科大学の国際交流

学生課では、留学や国際学会発表の費用に対する助成金(国際交流基金)の受給申請の受付を行っています。

この国際交流基金の助成を受けて、今年8月に初めて実施された、大阪薬科大学の紹介旅行留学プログラム「バンクーバー・サマープログラム(医療英語レッスン・医療施設見学)」に11名の学生が参加しました。現地でホームステイを行いながら、語学学校に通い、医療施設見学を行う中で、学生達は多くの学びを得て、実りある夏にすることができたようです。

3月には、同じく大阪薬科大学独自の留学プログラムである「オーストラリア薬学語学研修」を15日間に渡り実施します。こちらは、本年度で3回目の実施となるプログラムです。現地ではホームステイを行い、薬学英語を学ぶとともに、現地の薬局見学や様々な文化体験が出来ます。

国際交流等に興味のある方は、ホームページに参加者の報告書が掲載されていますのでご覧ください。また、上記のプログラムの他、ご自身で企画された留学に対しても、国際交流基金の助成を行っています。

詳細は本学HP 国際交流基金助成事業の頁(<http://www.oups.ac.jp/gakujutsu/kokusaikoryu/index.html>)に記載しています。

交換留学プログラム

■大学が締結している海外学術交流協定大学との交換留学

☆助成額: 渡航にかかる交通費、滞在費、参加費の経費総額から20万円を上限に助成

海外研修旅行・ 海外語学留学

■各自で企画する海外研修旅行・海外語学研修

■大学が紹介する海外研修・短期留学

☆助成額: 渡航にかかる交通費、滞在費、参加費の経費総額の5割。但し15万円を上限に助成

国際学会等発表

■国際学会等発表

☆助成額: 渡航にかかる交通費、滞在費、参加費の経費総額の8割。但し15万円を上限に助成

春休みは旅行や短期留学などで海外へ渡航する機会が増えます

渡航の際には、法制度、文化、風俗及び習慣等の全てが日本とは異なることを強く意識して、「自分の身は自分で守る」との心構えをもち、渡航及び滞在の目的にあわせた情報収集や安全対策に努めてください。外務省海外安全ホームページ、厚生労働省検疫所ホームページや各国、国際機関等の海外安全ホームページなど、渡航先にどのような危険が存在するか予め把握しましょう。



安全対策

- 渡航先の日本大使館等の連絡先をメモしておく。
- 「たびレジ」の登録

※滞在期間が3ヶ月未満の場合、「たびレジ」に登録してください。外務省の「たびレジ」に登録すると、登録されたメールアドレスに在外公館から緊急一斉通報があるほか、旅行先の国・地域で緊急事態が発生した時に登録した電話番号や宿泊先に連絡があります。

- ・たびレジ <https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/index.html>
 - ・外務省 <http://www.mofa.go.jp/mofaj/>
 - ・外務省海外安全ホームページ <http://www.anzen.mofa.go.jp/>
 - ・厚生労働省検疫所(FORTH) <http://www.forth.go.jp/>
- ※外務省海外安全アプリのダウンロードはこちら(たびレジ登録もこちらからできます)▶

iPhone用

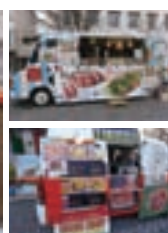


Android用



■「薬大ガーデンキッチン」人気のキッチンカーが薬大に集合！

前回好評だったキッチンカー第2弾。今回は平成30年12月18日(火)～20日(木)の3日間行い、出店店舗はステーキ、タコス、ケバブ、たこ焼き、クレープ、カフェなど日替わりで3～4店舗、出店頂きました。当日は寒い中にもかかわらず行列ができ、早々と売り切れる商品もあり、大変好評でした。



「関西薬連・全国薬連大会」結果(平成30年度)

関西薬連大会

部 名	団 体	個 人
硬式野球部	3位	新人賞:中川 博翔① ホームラン王:安場 清高③
サッカー部	4位	
卓球部	男子 ベスト4 女子 準優勝	
バドミントン部	男子 ー	<男子ダブルス> ベスト8:井上 日晴③ 新郷 涼太②
	女子 準優勝	<女子シングルス> 優 勝:田中 沙弥② 準優勝:赤尾 美乃里④ <女子ダブルス> 準優勝:赤尾 美乃里④ 田中 沙弥② ベスト16: 大西 未企代③ 藤塚 万椰③ 永山 佳奈② 長槽 侑希①

全国薬連大会

(注)○内は学年

部 名	団 体	個 人
陸上競技部	男子 2位	<男子やり投げ> 2位:奥田 剛充② <男子三段跳び> 優勝:松本 功一③
	女子 3位	<男子走幅跳> 3位:松本 功一③ <男子砲丸投げ> 優勝:奥田 剛充② <男子円盤投げ> 優勝:奥田 剛充② <男子400m> 優勝:友次 一真②
		<男子4×100mリレー> 2位:奥田 剛充② 松本 功一③ 福塚 亮介② 友次 一真②
		<男子スウェーデンリレー> 優勝: 奥田 剛充②・福塚 亮介② 松本 功一③・友次 一真②
		<女子やり投げ> 優勝:岡島 遥菜② <女子砲丸投げ> 優勝:岡島 遥菜② (大会新記録樹立) <女子円盤投げ> 2位:岡島 遥菜②
	男女総合 2位	女子MVP:岡島 遥菜②
卓球部	男子 ー	<男子ダブルス> 3位:今本 京大③・勝本 拓海② <男子シングルス> ベスト8:勝本 拓海②
	女子 ベスト8	

第14回大阪薬科大学特待奨学生表彰

優秀な成績で特待奨学生に選ばれた皆様に心から敬意を表します。

特待奨学生の内、学部学生については、前年度の「学業成績が優秀でかつ学生生活における態度」などを慎重に審議し、最終的に教務部委員会及び学生部委員会において決定いたしました。大学院の新入生については「大学院入試成績が優秀な者」を、また、大学院の在生学生については、研究内容のプレゼンテーションを行っていただき、大学院委員会のメンバーがそれを評価し、「有望な研究を行っている」という観点から、大学院委員会で最終決定しました。学部、大学院で特待奨学生に選ばれた皆様は、本学学生の模範として、学生全体を牽引する存在として今後ともさらに精進してくださるようお願い申し上げます。



大学院新入生及び学部特待奨学生表彰式(6月4日)



5年次生特待奨学生表彰式(8月2日)



大学院特待奨学生表彰式(12月6日)

平成30年度 大阪薬科大学特待奨学金 表彰者一覧

学部学生	最優秀	特別優秀	特別優秀	優秀	優秀	優秀	優秀
2年次生	林 薫子	豊島 茂大	細見 健太	中野 諒子	本間 大輝	満屋 領	水口 芹奈
3年次生	丸川 華穂	深田 真由	石崎 悠斗	藤村 勇介	二木 綾香	中川 夕芽	菅野 真那
4年次生	廣瀬光之輔	千福 航太	山口 雄矢	畔野 愛菜	西内 良太	浅田 夏月	山口 貴志
5年次生	近藤 理沙	山本 哲也	今久保哲哉	谷口 菜優	山川恵里佳	島田 英佳	吉川 和真
大学院学生	博士前期課程1年次生 山下 力也 / 博士前期課程2年次生 謝 晉頤 / 博士課程3年次生 藤森 美季						



学生相談室だより

学生相談室相談員 若林 暁子

先日、日本のホスピスケア・緩和ケアの第一人者である柏木哲夫先生のお話を聴く機会がありました。柏木先生は、良いケアを提供するためには人間力が必要と述べられ、2,500名を看取られた経験から「10の人間力」を提唱されています。具体的には、①聴く力、②共感する力、③受け入れる力、④思いやる力、⑤理解する力、⑥耐える力、⑦引き受ける力、⑧寛容な力、⑨存在する力、⑩ユーモアの力があります。ドイツ語のユーモアの定義には「～にもかかわらず笑うこと」「愛と思いやりの現実的な表現」とあり、ユーモアもケアに欠かせない重要な要素であるようです。

10の人間力の中で最も大切な力は「聴く力」であり、「聴く」という漢字には耳だけでなく心も（横にした）目もある、つまり目と目をしっかり合わせて心をこめて聴くことが大切であると述べられていました。また、最も難しい力は「共感する力」であり、共感力を高めるために「入れ替え」という方法を提唱されています。それは相手（例えば、人生の最終段階にある、ベッドに寝ている患者さん）と自分（例えば、ベッドサイドに座っている医療者）の立場をイメージ上で入れ替えてみることによって、相手がどんな言葉をかけてほしいかなど、その心が理解しやすくなるというものなのです。

皆さんの中には日々、相手の話を聴くことの難しさ、共感することの難しさを実感されている方がいらっしゃると思います。目に見えないもの（人のこころ）を理解することは非常に難しいことですが、想像力を働かせることによって共感力が高まり、相手の心情を理解しやすくなります。この入れ替え法、ぜひ試してみられてはいかがでしょうか。

この「10の人間力」は、学生の皆さんが将来、対人援助職として患者さんやご家族にケアを提供していくうえで一つの目指すべき指標になると思います。学生時代のうちに今しかできない多くの経験をする、さまざまな人と出会って多様性を理解すること、思考の柔軟性を身につけて

いくことなども人間力を育むのに役立つかもしれません。ユーモアを育むには“日々の生活の中で面白いこと・楽しいことをキャッチして人に話してみる”と良いようです。また、相手のこころを理解する（他者理解）には、自己の内面を見つめ自分自身をよく理解しておくこと（自己理解）も大切となります。学生相談室もその機会の一つとしてぜひご利用ください。皆さんのお越しを相談員一同お待ちしております。

参考文献：

柏木哲夫「生き方死に方」…元気に笑って歌って、死の臨床、2015,38(1)。

学生相談室

本学では、学生相談室を設け、週に3回、カウンセラー（臨床心理士）が相談を受け付け、学生が抱える問題や悩みに対処しています。保護者からの相談も可能です。



若林 暁子



小田 佳子



西田 裕子

受付時間

【毎週火曜日】
12:00-16:00 若林 暁子
【毎週木曜日】
12:00-16:00 小田 佳子
【毎週金曜日】
14:00-18:00 西田 裕子

問合せ

TEL:072-690-1077(直通)
e-mail:counsel@gly.oups.ac.jp



教務課だより

■平成30年度学位授与

【学士】 | 学士(薬学) 薬学科 男子1名 (平成30年9月28日)

■平成30年度FD委員会活動報告

平成30年度のFD活動については下記の通り実施しました。

教育業務研修会

開催日	平成30年8月27日(月)13:00~16:30
テーマ	初年次教育とIPE(多職種連携教育)の実際を知る
開催概要	13:00~ 開会挨拶(政田学長、中村任FD委員長) 13:05~ 本学3ポリシーについて(浦田教務部長) 13:10~ 初年次教育~アカデミックスキル~開始について (薬学教育研究センター:長谷井准教授、倉田助教) 13:40~ 高知IPE研修~医療人マインド~開始について (臨床薬学教育研究センター:中村敏明教授、角山准教授) 14:10~ 休憩 14:30~ 講演 「IPEからIPWへの展開~千葉大学亥鼻IPEを例として~」 千葉大学医学部附属病院教授・薬剤部長 石井 伊都子 先生
会場	大阪薬科大学D302講義室

研究業務研修会

がんプロ事業と共催

大薬がんプロ教育講演会2018

開催日	平成30年9月13日(木)16:30~18:00
テーマ	PD-1とがん、そして自己と非自己の識別
講師	奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス領域 准教授 石田 靖雅 先生
会場	大阪薬科大学D302講義室

第2回薬学トップランナー研究講演会

開催日	平成30年12月3日(月)16:30~18:00
テーマ	未来医療を変えるクリエイティブ研究 ~Future of Healthcare~
講師	横浜市立大学先端医科学研究センター教授、 東京医科歯科大学統合研究機構教授 武部 貴則 先生
会場	大阪薬科大学D301講義室

■2018年度学術交流・研究推進プロジェクトについて

本学では学外教育研究機関及び医療機関との共同研究を推進し、独創的な先端研究を支援することを目的として、今年度から「学術交流・研究推進プロジェクト(学内競争的資金制度)」をスタートさせました。9月15日に開催された「2018年度学術交流研究発表会」では26件の研究提案があり、外部審査委員を含めた審査委員により厳正な審査が行われ、以下11件の課題研究助成と8件の科研費助成が採択されました(総額1,490万円)。本制度を契機に、提携する学外教育研究機関及び医療機関との共同研究がさらに活発化されると期待されます。

なお、採択された課題研究の成果は次年度開催予定の「学術交流・研究推進シンポジウム」において発表の予定です。



2018年度学術交流研究発表会の様子

2018年度学術交流・研究推進プロジェクト (学内競争的資金制度)採択者一覧

氏名(敬称略)	研究室
林 哲也	循環病態治療学研究室
天満 敬	生体分析学研究室
宮本 勝城	微生物学研究室
和田 俊一	機能分子創製化学研究室
門田 和紀	製剤設計学研究室
内山 博雅	製剤設計学研究室
菊地 崇	医薬分子化学研究室
小池 敦資	病態生化学研究室
清水 佐紀	薬品作用解析学研究室
加藤 巧馬	分子構造化学研究室
前原 都有子	病態生化学研究室

科学研究費助成事業(科研費)助成一覧

氏名(敬称略)	研究室
浦田 秀仁	機能分子創製化学研究室
福永 理己郎	生化学研究室
宮本 勝城	微生物学研究室
芝野 真喜雄	生薬科学研究室
門田 和紀	製剤設計学研究室
内田 まやこ	臨床薬学教育研究センター
内山 博雅	製剤設計学研究室
田中 早織	薬物治療学研究室

■大阪薬科大学シーズ集2018

本学では、教育・研究を通じて得られた研究成果を広く社会に還元し、「社会貢献」や「産学官連携」を推進することを目的として「大阪薬科大学シーズ集2018」を発刊しました。今回は、教員の研究内容のほか、研究室紹介のページを設け、研究室の研究内容や現在取り組んでいる研究テーマを掲載しました。

シーズ集は本学教員の「研究分野」や「研究概要」、「産学連携の可能性」などについて、わかりやすく掲載している研究紹介の冊子です。このシーズ集は、製薬会社をはじめ、多くの企業にも送付して、本学の研究を学外へ広く発信しています。この研究シーズ集が、産学官連携活動をはじめ、新たな研究開発の一助となることを期待しています。

■平成30年度実験動物慰霊祭

平成30年12月13日(木)12時20分よりC105講義室において、実験動物慰霊祭を執り行いました。

慰霊祭は、教職員及び学生等、参列者全員が黙祷を行った後、永井動物関連研究施設運営委員長から挨拶と慰霊のことばが述べられました。次いで、大喜多動物関連研究施設管理責任者から、実験動物飼育状況等について報告がありました。

最後に、私たちの教育・研究のために尊い命を捧げてくれた実験動物の冥福を祈り、参列者全員が献花しました。

■平成30年度大阪薬科大学生涯学習事業を終えて

生涯学習センター長 永井 純也

薬学教育モデル・コアカリキュラムや薬剤師として求められる基本的な資質に記載されている内容を持ち出すまでもなく、薬剤師が生涯にわたって自己研鑽を積み、常に最新の知識や技能を継続的に修得していくことは、医療の担い手である薬剤師としての使命を果たすために不可欠であります。そうした社会的背景や要請も踏まえて、平成29年6月には本学に生涯学習センターが設置され、薬系大学として薬剤師を輩出するのみならず、卒後の薬剤師の研修活動にも積極的に支援していく組織体制が本学においても整備されました。生涯学習センター開設2年目にあたる今年度は、生涯学習委員会委員の先生方とも活発に意見を交わしながら、新たな生涯学習事業も盛り込み、より幅広いニーズに応えるための学習支援を行えるように取り組んでまいりました。

今年度において本学生涯学習事業として計画したコンテンツは、1)集団研修形式の講演会である「公開教育講座」、2)各回20名程度の薬剤師を限定とし、演習を主体とした参加型の「サテライトセミナー」、3)今後の在宅医療やチーム医療を円滑に進めていくために必要な知識と技能の習得を目的とした「薬剤師のためのフィジカルアセスメントセミナー」(今年度から「ベーシック編」と「アドバンス編」に分けて開講)に加えて、4)漢方の基礎を講義形式で学ぶ「基礎から始める漢方薬入門セミナー」(新規開講)、在宅療養支援を見据えて実技研修形式の5)「無菌調製実技セミナー」(新規開講)や6)「薬剤師が実践できる褥瘡治療実技セミナー」(新規開講)の6つでした。ただ、今年度は台風による大雨などの影響のため、やむを得ず直前に中止とした事業もありました。中止となった事業に参加を予定されていた皆さまにおかれましては、不都合をお掛けしましたことにこの場を借りて心よりお詫び申し上げます。

平成30年度の生涯学習事業を総括しますと、まず、公開教育講座については「肺癌治療における最近の進歩と多職種協働」、「糖尿病治療と治療薬の最前線」および「情報の提供と指導」を各回のテーマとして取り上げ、以下の日程で3回開講しました。いずれの開催においても多数の現役薬剤師の先生方にご参加頂きました。ま

た、「サテライトセミナー」は5回開催し、「医薬品情報／ポリファーマシー」、「薬物動態」、「医薬品リスク管理計画(RMP)」、「がん薬物療法」をキーワードとしたテーマを各回に設定しました。少人数で活発な議論を行うことにより、参加者間での知識や問題点の共有が図れたのみならず、積極的に自分の意見を発言するといったチーム医療では不可欠なスキルの向上に役立てて頂けたものと感じています。また、「薬剤師のためのフィジカルアセスメントセミナー」では、これまでの本セミナーの内容をベーシック編として3回(予定していた1回分は大雨のため中止)、主にリピーターを対象としたアドバンス編を2回開催いたしました。本セミナーの参加者のほとんどはさらなる継続的なフィジカルアセスメントのスキルアップを望まれており、フィジカルアセスメントの難しさや大切さを実感頂いているものと思われます。また、新規に開講した「基礎から始める漢方薬入門セミナー」と「薬剤師が実践できる褥瘡治療実技セミナー」は事前予約で定員が満たされるといった状況で、受講後のアンケートでも好評を頂いたことからニーズを満たす事業を実施出来たものと考えております。新規開講予定であった「無菌調製実技セミナー」は事前申込で定員を満了し、綿密に準備を進めていたものの台風接近のため中止となったことは大変残念でしたが、次年度はぜひとも開講したいと考えております。

今年度は大阪北部地震をはじめとした様々な災害に見舞われ、一部の事業は中止となりましたが、多くの生涯学習事業を円滑に実施することができたのは、ひとえに多くの皆様方のご支援の賜であると心より感謝しております。ご協力いただいた学外の講師の先生方、週末にも関わらずご参加頂きました皆様方ならびに本学の教職員の方々におかれましては、厚く御礼申し上げます。最後に、本生涯学習事業の開催にあたり、ご共催あるいはご後援いただきました公益財団法人 日本薬剤師研修センター、公益社団法人 日本薬学会近畿支部、一般社団法人 大阪府薬剤師会、一般社団法人 大阪府病院薬剤師会、大阪薬科大学同窓会に厚く御礼申し上げます。

2018年度 大阪薬科大学 生涯学習事業

■公開教育講座(講演会)

【第78回】

開催日	平成30年5月26日(土)
演題 講師	①「進行期肺がんの薬物療法」 京都府立医科大学大学院 医学研究科 呼吸器内科学 教授 高山 浩一 先生 ②「肺癌治療における多職種協働～薬剤師の役割と可能性～」 住友別子病院薬剤部 副科長 矢野 琢也 先生
会場	関西大学 梅田キャンパス

【第79回】

開催日	平成30年7月21日(土)
演題 講師	①「糖尿病治療薬開発を推進するDDSの最新の話」 神戸学院大学薬学部 薬物送達システム学研究室 教授 武田 真莉子 先生 ②「なぜ糖尿病薬はハイリスク薬なのか ～インスリン製剤を中心に～」 大阪医科大学 内科学I 教授 今川 彰久 先生
会場	梅田スカイビルタワーウエスト36階 会議室L・R

【第80回】

開催日	平成30年11月17日(土)
演題 講師	①「薬剤師の社会的役割の向上と職能の高度化を目指して」 独立行政法人 医薬品医療機器総合機構(PMDA) ワクチン等審査部長 紀平 哲也 先生 ②「臨床検査値を用いた個別化医療の実現」 千葉大学医学部附属病院 薬剤部 教授・部長 石井 伊都子 先生
会場	新大阪丸ビル別館



■サテライトセミナー

【第1回】

開催日	平成30年4月22日(日)
研修内容	「医薬品情報の活用-ポリファーマシーへの対応①-」
講師	大阪薬科大学 臨床薬学教育研究センター 教授 中村 敏明 他

【第2回】

開催日	平成30年5月20日(日)
研修内容	「医薬品情報の活用-ポリファーマシーへの対応②-」
講師	大阪薬科大学 臨床薬学教育研究センター 准教授 角山 香織 他

【第3回】

開催日	平成30年8月26日(日)
研修内容	「紙と鉛筆でできる!?薬物体内動態の変動を予想する」
講師	大阪薬科大学 薬学教育研究センター 教授 宮崎 誠 他

【第4回】

開催日	平成30年10月28日(日)
研修内容	「RMPを日常業務に活かそう～胃酸分泌抑制薬を例に～」
講師	大阪薬科大学 臨床薬学教育研究センター 教授 中村 任 他

【第5回】

開催日	平成30年11月4日(日)
研修内容	「がん薬物療法における口腔粘膜・口腔ケアについて考える」
講師	大阪薬科大学 臨床薬学教育研究センター 講師 内田 まやこ 他

【各回共通】

会場	大阪薬科大学サテライト研修室(三島センター薬局 3階)
----	-----------------------------



■薬剤師のためのフィジカルアセスメントセミナー

【ベーシック編】

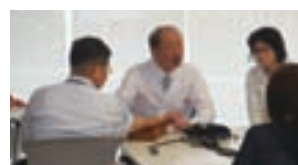
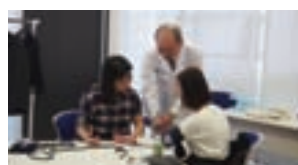
開催日	【第1回】平成30年5月13日(日) 【第2回】平成30年7月8日(日) =大雨による影響のため中止= 【第3回】平成30年9月9日(日) 【第4回】平成30年11月11日(日)
-----	--

【アドバンス編】

開催日	【第1回】平成30年6月10日(日) 【第2回】平成30年10月14日(日)
-----	---

【各回共通】

研修内容	「薬剤師に必要なフィジカルアセスメントの基礎知識と実践」
講師	大阪薬科大学 循環病態治療学研究室 教授 林 哲也
会場	大阪薬科大学 セミナー室D-3A



■基礎から始める漢方薬入門セミナー

【第1回】

開催日	平成30年7月15日(日)
研修内容	「漢方医学の基礎と考え方」 「カゼに用いる漢方薬と治療の考え方」

【第2回】

開催日	平成30年7月22日(日)
研修内容	「気血水のバランスをとる漢方薬」 「五臓に作用する漢方薬」

【各回共通】

講師	大阪薬科大学 生薬科学研究室 准教授 芝野 真喜雄
会場	大阪薬科大学 サテライト研修室(三島センター薬局 3階)

■無菌調製実技セミナー

開催日	平成30年9月30日(日) = 台風接近のため中止 =
講師	大阪薬科大学 臨床薬学教育研究センター 講師 内田 まやこ
会場	大阪薬科大学 D棟2階 模擬無菌調製室

■薬剤師が実践できる褥瘡治療実技セミナー

開催日	平成30年9月16日(日)
講師	愛生館小林記念病院 褥瘡ケアセンター センター長 古田 勝経 先生 オレンジ薬局 布施北店 長谷川 雅子 先生
会場	大阪薬科大学 サテライト研修室(三島センター薬局 3階)

2019年度 生涯学習事業予定

2019年度の生涯学習事業予定は、以下のとおりです。詳細は、ホームページに掲載しますのでご確認くださいませようお願いいたします。

事業名	日程	時間	会場
公開教育講座	5月19日(日) 「21世紀のてんかんの診断と治療：てんかんは国民病」 京都大学大学院医学研究科 てんかん・運動異常生理学講座 教授 池田 昭夫 先生 「新規抗てんかん薬の薬物動態とTDMの有用性」 神戸大学医学部附属病院 薬剤部 教授・薬剤部長 矢野 育子 先生	13:30~17:00	梅田スカイビル
	7月21日(日)		
	11月17日(日)		
フィジカルアセスメント セミナー(ベーシック編)	5月12日(日)・7月14日(日)・11月10日(日) 大阪薬科大学 循環病態治療学研究室 教授 林 哲也	10:00~13:00	本学 D棟3階 セミナー室D-3A
フィジカルアセスメント セミナー(アドバンス編)	6月9日(日)・10月13日(日)・2020年1月12日(日) 大阪薬科大学 循環病態治療学研究室 教授 林 哲也	10:00~15:00	大阪薬科大学サテライト研修室 (旧 三島センター薬局3階)
基礎から始める 漢方薬入門セミナー	7月7日(日)・7月15日(月・祝) 大阪薬科大学 生薬科学研究室 准教授 芝野 真喜雄		
無菌調製実技セミナー	9月29日(日) 大阪薬科大学 臨床薬学教育研究センター 講師 内田 まやこ	10:00~16:00	本学 D棟2階 模擬無菌調製室
薬剤師が実践できる 褥瘡治療実技セミナー	9月8日(日)予定	10:00~16:00	調整中
サテライトセミナー	第1回 6月2日(日) 「医薬品情報の活用 ～薬学的管理、再考!～」 大阪薬科大学 臨床薬学教育研究センター 教授 中村 敏明 他 第2回 6月23日(日) 「医薬品情報の活用 ～添付文書から有効性を読み解こう～」 大阪薬科大学 臨床薬学教育研究センター 教授 中村 任 他 第3回 7月28日(日) 「医薬品情報の活用 ～RMPを日常業務に活かそう～」 大阪薬科大学 臨床薬学教育研究センター 准教授 角山 香織 他 第4回 10月6日(日) 「今一度! 薬物動態の基礎+α」 大阪薬科大学 薬学教育研究センター 教授 宮崎 誠 他 第5回 10月27日(日) 「薬剤師が知っておきたい末梢神経障害のエッセンス」 大阪薬科大学 臨床薬学教育研究センター 講師 内田 まやこ 他	10:00~14:30	第1回~第3回 大阪薬科大学サテライト研修室 (旧 三島センター薬局3階) 第4回・第5回 調整中
生命医療倫理セミナー： ひとと医療、そして倫理	9月22日(日) 大阪薬科大学 環境医療学グループ 教授 阪本 恭子	13:00~16:30	調整中



キャリアサポート課だより

キャリアサポート課は、学生一人ひとりの主体的な進路選択や希望する進路の実現をサポートしています。利用者の中心は就活生や5年次生となっていますが、もちろん1～4年次生・大学院生の利用も大歓迎です。

学生へのキャリアサポート体制としては、年間を通じてセミナーや実践講座などのキャリア支援企画や個別相談等を行っています。低学年の学生に対しては、働くことの意義を考え自己の主体的なキャリアプランを醸成する講演会や、薬学出身者が活躍する多様な職種の理解を深めるセミナーなどがあります。さらに、就活を迎える学生に対しては、就職活動に必要な知識や情報を得たうえで、就職活動に勝ち抜くための実践的支援として面接実践トレーニング、小論文対策など選考に特化した企画を実施しています。

窓口では、各資料の有効な利用方法についての説明や個別相談を受け付けています。個別相談では、キャリアカウンセリングの資格(国家資格)を持った職員が、進路に関する悩み相談、インターンシップや就活に関する対策、個別面接トレーニングなど、さまざまな要望に丁寧に対応します。

以下に直近の主な支援プログラムの概要を紹介しますので、参考にしてください。

なお、プログラムの詳細については、キャリアサポート課の掲示板やユニバーサルパスポートを通じて別途案内します。

平成31年2月・3月実施の 主な支援プログラム概要

学部生(全学年)及び大学院生向け

■学内合同説明会のお知らせ

重要

平成31年3月2日(土)、企業・病院・薬局・公務員の約140団体が参加する求人や職種に関する情報提供を目的とした学内合同説明会を開催します。

これまでは2回に分けて開催してきましたが、今回より一度に開催することで、幅広い業種・職種の比較や情報収集をしやすくなりました。

当日は求人情報、及び仕事内容の紹介、どのような働き方をしているのか、等を人事担当者から直接聞くことができる絶好の機会です。

なお、当日は全員スーツを着用して参加してください。

※参加団体紹介パンフレットはキャリアサポート課から事前配布しますので、説明会当日までに読み込んでおき、訪問するブースやそこの質問を考える参考として利用してください。

【今回のポイント】

- 例年と異なり、企業・病院・薬局・公務員の業種を一度に見わたし説明を受けることができます。
- 企業では食品・化学など皆さんがあまり馴染みの無い業界も参加されます。
- 病院、公務員では近畿圏はもちろん、西日本各地からも参加されます。



■個人面談

随時

皆さんの進路・就職相談に対して適切なアドバイスを行うために、キャリアカウンセラー職員による個人面談を随時実施しています。希望する学生はキャリアサポート課へお越しください。

面談内容としては、面接を間近に控えた学生へは実際の面接を想定した練習とアドバイスを、応募先への提出書類や選考で小論文が課されている学生へは提出前に履歴書やエントリーシート(ES)・小論文の確認やアドバイスをを行います。また、進路・就職に悩む学生に対しては徹底的に話を聞いて、共に考えることで、自分自身の進む道を見つけられるよう寄り添った支援を実施しています。

※その他各種キャリアサポートガイダンスも引き続き実施していきます。

4年次生(就活準備期生)向け

3年次生以下の参加も歓迎

参加必須

2月5日(火)	スタートアップ講座 ～今から意識する就活準備～
	自分がつくるキャリアデザイン ～自分のキャリアは自己責任～
	データから読み取る最新の就職事情
	就活と実務実習のためのマナー講座
2月6日(水)	自己分析・自己PR・志望動機作成講座(添削付き) 薬学生に必要な就活方法を知ろう
2月7日(木)	企業への就活 ～志望企業の選び方・探し方～ SPIテスト対策(能力検査・性格検査・概要説明・体験・解説含む)
2月8日(金)～	4年次生全員面談

今の時期に大切なことは、就活スキル以前に「卒業後の将来」「あなたが考える働くことの意味」「何のために働くのか」について、自ら考えた将来ビジョンを自己実現していこうとする強い意志と心構えをもつことです。

世間では何かと就活スキルの方が注目されがちですが、本学キャリア支援は、このことを理解・深化させたうえで、最近の就活事情や薬学生に特化した就活方法、社会人としてのマナー、就活スキル全般等について説明していきます。必須講座ですので、積極的に参加してください。

また、新企画として、より細やかな支援体制をとるために本学のキャリアカウンセラー職員が4年次生全員を対象にした個人面談を実施します。進路に対する不安や悩みなど何なりと相談してください。

5年次生(就活直前期生)向け

*印は、4年次生以下の参加も歓迎

重要

2月14日(木)	個人面接 実践トレーニング①(GD対策含む) 定員約60名
2月20日(水)	病院就活方針説明会
	志望病院の選び方*
	系統別病院ガイダンス* (国立病院機構、大阪府立病院機構、市民病院、民間病院)
	小論文対策講座(添削付き)
3月12日(火)	個人面接 実践トレーニング② 定員54名

まもなく2020年卒を対象とした就職採用広報が開始されます。企業や薬局はもちろん、最近では病院からの求人や選考時期も早期化してきており、いずれの進路を目指そうとも事前準備が必要な時期です。

そこで、臨場感あふれる環境を体感できるよう、外部から模擬面接官を迎えて実際の選考を想定した面接実践トレーニングを実施します。面接後には模擬面接官からの評価やアドバイスを受けることができ、これを参考にブラッシュアップしてください。また、病院志望学生向けガイダンスでは、病院特有の就活事情を説明すると共に、国内には様々な種類の病院施設があること、病院の機能や所在する地域によって果たす役割が異なること、勤務先によって働き方も多様であることの理解を深めていきます。自分は病院薬剤師としてどのように働きたいのかを考える手がかりにしてください。

■オープンキャンパス 報告

オープンキャンパスが8月19日(日)、10月28日(日)に、快晴のもと開催されました。今年は台風の影響により、7月30日(日)は中止となり、8月19日(日)の参加者は過去最多となり、食堂やイベント会場が大変混雑しました。また、9月30日(日)も台風の影響で中止となりましたが、振替として10月28日(日)に開催した秋のオープンキャンパスは、周知期間が短いにもかかわらず、たくさんの高校生、保護者の方にご参加いただきました。

「キャンパスツアー」や「在学生による個別相談コーナー」では在学生が活躍しました。参加者にとっては教職員には聞きにくい「生の声」を気軽に聞くことができ、大変好評でした。そのほかに「入試説明会」、「教員による個別相談コーナー」、「体験イベント(模擬実験)」、「ラボツアー(研究室見学ツアー)」などのプログラムを実施し、パンフレットでは伝わらない大阪薬科大学の魅力に触れていただきました。

これからも、オープンキャンパスを通じて本学のPRをしていきたいと考えています。

入試説明会

8月19日・10月28日実施



D棟301講義室にて、学長からの挨拶の後、入試委員長から入試状況について、説明がありました。

キャンパスツアー

8月19日・10月28日実施



オープンキャンパスの中で一番人気のイベントで、来場者のほとんどが参加します。D棟2階にある実習施設などを本学学生がご案内します。学生の話熱心に聴いている姿が印象的でした。

ドリンクコーナー

8月19日・10月28日実施



参加者にドリンクを一人一人丁寧に、笑顔で配ってくれました!

体験イベント(模擬実験)

8月19日実施



薬学部の学びが体験できる体験イベント(模擬実験)として「漢方薬「葛根湯」を煎じてみよう」、「細胞や自分のDNAを見てみよう」、「バスフィズをつくろう」を開催しました。

活躍している卒業生講演

8月19日実施



枚方市保健所保健衛生課 石橋美佳様にて、学生時代の話や現在の仕事についてご講演いただきました。

ラボツアー(研究室見学ツアー)

10月28日実施



有機薬化学研究室と循環病態治療学研究室を訪問し、研究スタッフから直接、研究テーマや研究機器の説明を受けました。

■春のオープンキャンパス2019

春のオープンキャンパスは3月24日(日)に開催します。
プログラムはホームページでご確認ください。
学生アルバイトを募集しています。ぜひ、ご応募ください!





クラブ活動と私

■クラブ活動を彩り豊かな人生へ繋げる

大阪薬科大学ラグビー部

3年次生 安場 清高

現在、大阪薬科大学ラグビー部は、選手15名、マネージャー30名で、月・水・金・土の週4回活動しています。試験、講義、実習等が忙しい中、満足のいく練習時間を確保できませんが、できる限り効果的に練習ができるようにスケジュールを組み、最終目標である関西大学ラグビーリーグ戦での勝利に向けて、日々練習に取り組んでいます。また、部員の少なさを補うため、大阪医科大学ラグビー部、そして社会人のクラブチームと練習試合や合同練習を実施し、交流を深めています。特に大阪医科大学ラグビー部には、個人的に自主練習にも参加させていただき、ラグビーの技術のみならず、将来、自分自身が薬剤師として、医学・看護学と同じ医療従事者として活躍していくために、どのようなスキルを身に付け、どのように取り組めば良いのかを考え、教えていただける貴重な機会にもなっています。

私は、学生生活において、薬学の知識のみならず、体力、精神力、コミュニケーション力等、社会人として必要なスキルを全て吸収したいと考えています。現在、ラグビー部と硬式野球部を兼部していますが、これらのクラブ活動を通じて体力、忍耐力、礼儀正しさ、コミュニケーション力、人を思いやる心を養うことができます。医療従事者の中でも薬剤師は「おとなしい」、「目立たない」などということを聞くことがあります。医学部では、長時間の手術に備えるため、体育クラブに所属し、積極的に体力をつけることを推奨されているようです。実際、ラグビー部の試合においても全般的に薬学部よりも医学部の方が強く、試験、講義、実習で忙しいのにもかかわらず、良い結果を残しています。「薬学生よりも医学生の方が学生時代に学業、クラブ活動においてに頑張っているのか？」これらのことを考えると社会に出てからもそれが継続されているようにも感じています。薬学もラグビーも硬式野球も簡単には成果に繋がりません。毎日の学習、基礎練習が積み重なって、試験や試合で大きな成果に繋がるのだということをこれまでの3年間で学びました。薬学部は6年間あり、もうすでに3年が過ぎ、自分自身がどれだけ成長できているのか不安になることもあります。少しずつですが成長し、ラグビー部の仲間たちと楽しい学生生活を過ごせているのではないかと感じています。

最後に、大阪薬科大学ラグビー部の強みは、なんといってもOBと現役のつながりの強さです。ラグビー部の歴史は他

のクラブと比べても古く、20代から70代まで幅広い年齢層のOBからラグビーの指導はもちろんのこと、就職活動においても企業、公務員、病院、薬局と全ての分野で手厚いサポートを受けることができます。残りの3年間、ラグビーと学業を全力で頑張り、薬学の知識はもちろん、体力、人間力とも最高レベルの「スーパー薬剤師」を目指します。



クラブ活動を通して
紡いだ糸が今後の人生に
つながっていくんだね。



OB・OGの活躍



大阪薬科大学を卒業後、アナウンサーへ。

今回は平成5年卒業の柴田 薫さん(旧姓 住谷)にご登場いただきました。

たくさんの肩書きを持ち、多方面で活躍されていらっしゃる柴田さんから在校生にメッセージをいただきました。

大阪薬科大学で学ばせて頂いた知識・経験が今の仕事にも大いに生かされているのですが、大薬生時代に打ち込んだ事はと改めて聞かれると正直困ってしまいます(笑)。

というのも、大学時代が唯一人生で目的が見えなくなってしまった時期だったからです。

薬大に進んだものの元々は医大を目指していたことから薬剤師としての自分の未来が全く想像出来ず、将来何がしたいのか、何をすべきかが見えず、様々な事に取り組

みながらどれもしっくりこないという感じでした。

結果、「とりあえず留年せずに卒業する」というのが当時の目標でした(笑)。

その後就活をして就職も決まったのですが、その時点でもまだ迷っていて、「私がしたい事は本当にそれなのか?」とずっと自問自答していました。

そんな時です!忘れもしない大学生活最後の夏に大阪でスカウトされ、「おはよう朝日です」のレギュラー出演が決まったのです。

今思えば、それが私の転機。

内定を頂いていた就職先には頭を下げに行き、思い切った決断をしました。

アナウンサーとしてキャリアをスタートしましたが、その後薬大卒業の経歴があるからこそ商品開発のお仕事にも出会えました。

在校生の皆さん、一度きりの人生を思いっきり楽しんで下さい。

人生何が起こるかわかりません。

大学時代から異端児と言われ、決して正統派薬大生ではなかった私でも、今となっては商品開発プロデューサーとしてやっと薬大卒業生らしい事をさせて頂いております。

薬学部卒業・アナウンサー・美魔女という一点一点の私の経歴が40歳を過ぎて一本の線となりました。そう、すべての経験が今の私を作っているんです。

まさに「人生に無駄はなし」です。

今ある全ての出来事に意味があるのです。

未来を変えるのも作るのも自分。

感謝と努力と謙虚さを忘れないければ、必ず道は開けます。



大薬祭のカラオケ大会で優勝！



実習中にクラスメートと一緒に



現在とあまり変わっていないかも



(株)Kor's style 代表取締役
ライフスタイルコンサルタント
フリーアナウンサー
ビューティーアドバイザー
美腸研究家

柴田 薫 さん(平成5年卒)

第2回国民的美魔女コンテストファイナリスト(「腸美魔女賞」受賞)をきっかけに仕事の幅も増え、現在は司会や講演の仕事の他に商品開発プロデューサーとして健康食品などの商品開発にも携わり、柴田薫プロデュースの商品も幾つか出させて頂いております。

また、湧永製薬・明方ハム・印刷会社WAVE(国内)、株式会社ファイン(海外)などのコマーシャルにタレントとして出演しております。

現在販売されているプロデュース商品としては、「スーパー大麦と乳酸菌の恵み」(全国のキリン堂にて販売)、「Kor's style グリーンモーニングスムージー」「ハッピール」(ショップチャンネルにて紹介)があります。



The
平成

クローズアップ

YAKUDAI

"Our Heisei Period"

大薬生100人に
聞きました!

ほとんどが平成生まれである大薬生が平成の30年間において、どんなことが印象に残っているのかアンケート調査を実施しました。

あなたの平成ベストソングを教えてください。

- 1 世界にひとつだけの花(SMAP)
- 2 TSUNAMI(サザンオールスターズ)
- 3 Lemon(米津玄師)

以下、恋(星野源)、HANABI(ミスチル)、A・RA・SHI(嵐)、HERO(安室奈美恵)

やっぱり世界に
ひとつだけの花
は名曲だね



一番印象に残っている出来事は何ですか?

- 1 東日本大震災
- 2 自分の成人式
- 3 アメリカ同時多発テロ

以下、SMAPの解散、大学受験に失敗して浪人したこと、東京オリンピック開催決定

東日本大震災と
答えた人が圧倒的でした



あなたにとって一番印象に残っている著名人は誰ですか?

- 1 ZOZOTOWN 前澤社長
- 2 イチロー
- 3 小泉元首相

以下、大谷翔平、羽生結弦、天皇陛下

アンケートを実施した時期が
100万円ツイートで
賑わっていたからね



こんなユニークな
回答もありました!

一番印象に残っている出来事
筋力トレーニングとの出会い!



この出会いが今後の
人生を大きく変える
出会いとなったのかも
知れないね



平成に流行った歌、プロ野球日本シリーズ優勝チームなどをまとめてみました。

	西 暦	ヒット曲	プロ野球日本一チーム	日本人のノーベル賞受賞者
平成元年	1989	川の流れるように、とんぼ	読売ジャイアンツ	
平成2年	1990	踊るポンポコリン	西武ライオンズ	
平成3年	1991	SAY YES、どんなときも	西武ライオンズ	
平成4年	1992	君がいるだけで	西武ライオンズ	
平成5年	1993	YAH YAH YAH、負けないで	ヤクルトスワローズ	
平成6年	1994	イノセントワールド	読売ジャイアンツ	大江健三郎(文学賞)
平成7年	1995	ロビンソン	ヤクルトスワローズ	
平成8年	1996	I'm Proud、LA・LA・LA LOVE SONG	オリックス・ブルーウェーブ	
平成9年	1997	CAN YOU CELEBRATE?	ヤクルトスワローズ	
平成10年	1998	Automatic、夜空ノムコウ、誘惑	横浜ベイスターズ	
平成11年	1999	だんご3兄弟、Loveマシーン	福岡ダイエーホークス	
平成12年	2000	TSUNAMI、桜坂	読売ジャイアンツ	白川英樹(化学賞)
平成13年	2001	PIECES OF A DREAM、白い恋人達	ヤクルトスワローズ	野依良治(化学賞)
平成14年	2002	H、大きな古時計	読売ジャイアンツ	小柴昌俊(物理学賞) 田中耕一(化学賞)
平成15年	2003	世界にひとつだけの花、さくら(独唱)	福岡ダイエーホークス	
平成16年	2004	瞳をとじて	西武ライオンズ	
平成17年	2005	青春アミーゴ	千葉ロッテマリーンズ	
平成18年	2006	Real Face	北海道日本ハムファイターズ	
平成19年	2007	千の風になって	中日ドラゴンズ	
平成20年	2008	キセキ	埼玉西武ライオンズ	南部陽一郎(物理学賞) 小林誠(物理学賞) 益川敏英(物理学賞) 下村脩(化学賞)
平成21年	2009	Butterfly	読売ジャイアンツ	
平成22年	2010	ヘビーローテーション、あとひとつ	千葉ロッテマリーンズ	鈴木章(化学賞) 根岸英一(化学賞)
平成23年	2011	フライングゲット	福岡ソフトバンクホークス	
平成24年	2012	真夏のSounds good !	読売ジャイアンツ	山中伸弥(生理学・医学賞)
平成25年	2013	恋するフォーチュンクッキー	東北楽天ゴールデンイーグルス	
平成26年	2014	ようかい体操、レット・イット・ゴー	福岡ソフトバンクホークス	赤崎勇(物理学賞) 天野浩(物理学賞) 中村修二(物理学賞)
平成27年	2015	Dragon Night、海の声	福岡ソフトバンクホークス	梶田隆章(物理学賞) 大村智(生理学・医学賞)
平成28年	2016	PPAP、恋	北海道日本ハムファイターズ	大隅良典(生理学・医学賞)
平成29年	2017	インフルエンサー	福岡ソフトバンクホークス	石黒一雄(文学賞)
平成30年	2018	Lemon、U.S.A.	福岡ソフトバンクホークス	本庶佑(生理学・医学賞)

The
平成

大薬にまつわるエトセトラ

OUPS Heisei Period ～世の中の出来事も添えて～

大阪薬科大学の平成時代を振り返ります。



松原校舎64年の歴史に幕



リーガロイヤルホテルで盛大に開催

道修町 塩野義製薬 玄閑協の記念碑



平成16年
(2004年)
創立100周年



さようなら
松原校舎

100周年
記念事業で
発祥の地の記念碑
を建てました

平成8年
(1996年)

高槻キャンパスへ移転

平成30年度には第46回を数えた



平成6年
(1994年)

第1回市民講座開催

平成11年
(1999年)

附属薬局開局



残念ながら平成28年に閉局

昭和64年(1989年)
1月7日
昭和天皇崩御

平成3年
(1991年)

湾岸戦争勃発、
ソ連崩壊

平成5年
(1993年)

バブル崩壊、
Jリーグ開幕

平成6年
(1994年)

松本
サリン事件

平成7年
(1995年)

阪神・淡路大震災、地下鉄サリン事件

平成9年
(1997年)

消費税5%に

平成13年
(2001年)

アメリカ
同時多発テロ

平成14年
(2002年)

日韓ワールド
カップ開催

平成元年
(1989年)

元号が平成に、消費税導入(3%)、
ベルリンの壁崩壊



元号が平成に

提供朝日新聞社



未曾有の大災害が京阪神を襲った

提供朝日新聞社



みんなで勝ち取った金メダル

提供朝日新聞社

大阪薬科大学の主な出来事

世の中の主な出来事



一般製剤室



コンピュータ演習室



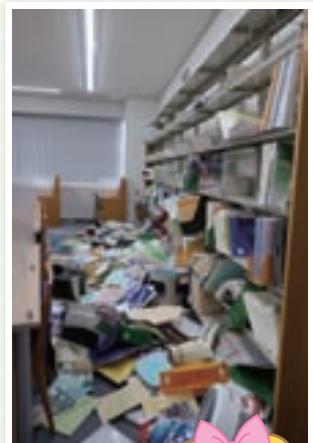
薬学教育6年制に対応した臨床実習棟

創立110周年記念ロゴマーク



記念事業で新しく時計塔を設置

大学のあちこちに被害が



大学も
2週間休校に
なりました

**平成30年
(2018年)**

大阪北部地震、
薬科学科(4年制)募集停止

**平成21年
(2009年)**

D棟竣工、
薬学共用試験
始まる

**平成26年
(2014年)**

創立110周年

**平成23年
(2011年)**

矢内原理事長逝去

**平成28年
(2016年)**

法人合併



学校法人大阪医科大学と法人合併

そして
新しい時代へ



**平成18年
(2006年)**

薬学教育6年制に移行

**平成19年
(2007年)**

郵政民営化

**平成21年
(2009年)**

新型インフルエンザ流行、
政権交代

**平成26年
(2014年)**

消費税8%に

**平成17年
(2005年)**

福知山線脱線事故

**平成20年
(2008年)**

リーマンショック

**平成23年
(2011年)**

東日本大震災

**平成28年
(2016年)**

熊本地震

**平成29年
(2017年)**

上野動物園赤ちゃんパンダ誕生

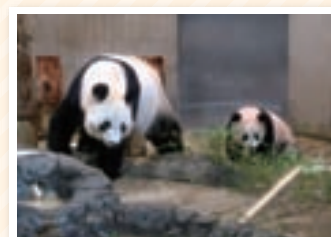


107名の尊い命が犠牲に

提供朝日新聞社



地震発生後に津波が街を飲み込んだ 提供朝日新聞社 高橋勲さん撮影



シャンシャンフィーバーで日本一のアイドルに 提供朝日新聞社

「管理体制の構築」と「管理規程」を柱に

— 学校法人大阪医科薬科大学の安全保障輸出管理に向けた取り組み —

国際的な平和及び安全の維持を目的として、武器や軍事転用可能な貨物（装置、試料など）及び技術を、大量破壊兵器の開発等を行っている国やテロリストの手に渡ることを防ぐため、政府は安全保障輸出管理制度を実施しています。

日本の研究成果物が安全保障の観点から危惧のある国や組織に渡るのを防ぐため、政府は平成22年に「外国為替及び外国貿易法（外為法）」を改正し、貨物や技術の輸出を厳しく管理をすることとしました。これを受けて経済産業省は大学に対し、①トップ・マネジメントの意識の高揚、②体制整備と内部規程の策定、③ホームページ等を活用した意識啓発の実施を求めています。

本法人はこうした政府方針に基づき、実験機器や医療技術などの輸出に関する体制を整備し、4月1日から運用を始めます。

輸出管理の対象は貨物（実験機器、研究試料等）と技術です。大学など研究機関は、海外の大学等との共同研究の際に、研究に使う機器等を送付（輸出）することがあります。また外国人研究者や留学生（非居住者）に対して機微な技術を提供することがあります。そのような場合には、輸出する貨物や提供する技術が「リスト規制」に該当するかどうかの判定が必要になります。

■ 大学における貨物の輸出处

貨物輸出の機会	送付（輸出）の具体例
海外との共同研究等	☐ 実験用機器（CCD検出器、光電子増倍管等）や部品等 ☐ 研究試料（DNAプラスミド、ウイルス等） ☐ 研究室で合成（自作）した薬品等
海外での展示、競技会等の出展	☐ ロボットの輸出（例：ロボットコンテストに出展など）
JICAやNEDO等の技術支援事業	☐ 実験機器、器具、試薬等の送付
海外での考古学等の調査研究	☐ 観測機材（高感度カメラ等）の持ち出し

■ 大学における技術の提供例

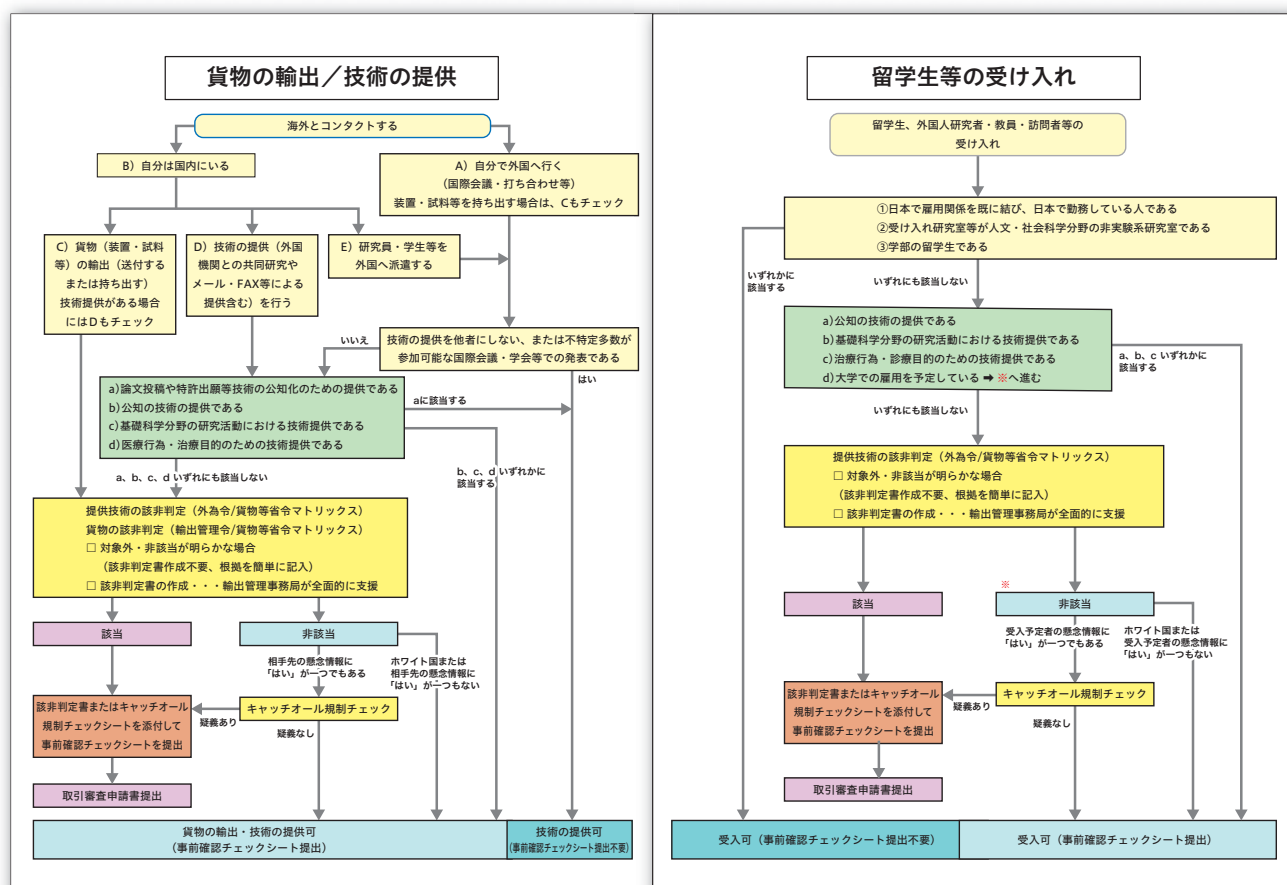
技術提供の機会	技術提供の具体例
学会等での研究発表	☐ 国内外の国際会議・シンポジウムでの研究発表
留学生・外国人研究者の受け入れ	☐ 実験装置・分析装置・機器の使用 ☐ 研究指導・技能指導（口頭も含む） ☐ セミナー・打ち合わせ等での情報提供 ☐ 電子メールやUSBによる技術情報提供
外国からの施設見学等	☐ 研究室の設備（実験装置）の見学 ☐ 共通大型実験施設の見学 ☐ 技術資料の提供
外国の企業・大学との共同研究	☐ 共同実験用装置・試料等の使用 ☐ 技術情報を電子メールやUSB等で提供 ☐ 公知でない技術情報の提供 ☐ 外国人共同研究者の大学訪問の際に技術資料を提供

輸出する貨物や提供する技術がリスト規制に該当しない場合でも、相手先（国）・機関の確認や用途等の確認が必要になる場合があります（キャッチオール規制）。

法人監査室と大阪医科大学大学安全対策室で安全保障輸出管理体制構築プロジェクトチームをつくり、「管理体制の構築」と「管理規程」を策定し、あわせて大阪医科大学、大阪薬科大学の両教授会と関係部署、職員への説明会を実施して、問題意識の共有を目指します。また本法人のホームページの危機管理サイトに関連情報を掲載することで意識高揚を図ります。

輸出管理体制の最高責任者は理事長で、大阪医科大学と大阪薬科大学の両学長が輸出管理統括責任者となります。留学生等の受け入れや貨物輸出等で輸出管理に関わる案件が発生した場合には、まず教員から該当する部門の担当者へ相談し、下のフローチャートを参考に事前確認を行ってください。

リスト規制	何を	■ 送付する・・・貨物 ■ 持ち出す・・・貨物 ■ 提供する・・・技術	貨物・・・輸出令 技術・・・外為令
キャッチオール規制	誰に	■ どの国 ■ どの機関／組織 ■ どんな人	需要者要件
	何のために	■ 目的 ■ 用途	用途要件



大阪医科大学研究推進課と大阪薬科大学臨床教育・研究支援課に4月から輸出管理事務局を設け、今後の実務を推進します。手続き等でご質問があればどんなことでもお訊ねください。

自由な教育・研究環境を確保し、安心してグローバルな活動ができるようしっかり支援したいと思います。

(大阪医科大学研究推進課、大阪薬科大学臨床教育・研究支援課、法人監査室)

D棟講堂・体育館改修工事

大阪府北部地震によって被害を受けたD棟講堂の吊天井改修工事が平成30年12月に完了しました。現在も引き続き、体育館の館内LED化工事を含む吊天井改修工事を行っており、平成31年2月下旬に完了予定です。また、平成31年3月よりC棟3・4階トイレ改修工事も予定しています。今後も学生が安全・安心に利用できるよう施設・設備の維持、向上に努めます。



D棟講堂の工事風景



体育館の工事風景

■ 本学の社会貢献活動 —市民講座委員会からの実施報告—

実施報告

第46回市民講座を、以下の通り開催しました。

開催日	平成30年9月15日(土)13:00~16:10
テーマ	肺を健やかに ～肺の病気と健康づくり～
演題・講師	(1)「誤嚥性肺炎を防ぐ～予備軍の間にできること～」 兵庫県立尼崎総合医療センター 呼吸器内科部長 遠藤 和夫 先生 (2)「薬局が起点となる予防医療と生活支援」 株式会社 グリーンメディック 代表取締役 多田 耕三 先生
会場	大阪薬科大学 C105講義室



開催案内

第47回市民講座を、以下の通り開催します。

開催日	2019年6月1日(土)13:00~15:50
テーマ	子どもを健常な大人へ育てる地域社会のために —小児科医療、子育て・孫育て、防災の観点から考える—
演題・講師	(1)「ピンチはチャンス 子、孫、親の命をどう守る？」 NPO法人孫育て・ニッポン 理事長 NPO法人ファザーリング・ジャパン 理事 棒田 明子 先生 (2)「＜子どもを健常な大人へ育てるために＞ ～小児医療の場で思うこと～」 阿武山こどもクリニック 内分泌担当医 小西 和孝 先生
会場	大阪薬科大学 C105講義室

■ 地域連携

高槻市立阿武山小学校3年生の社会見学について

地域連携教育の一環として、本学キャンパス内において、毎年高槻市立阿武山小学校の社会見学を実施しています。本年度は11月28日(水)、高槻市立阿武山小学校3年生児童22名が本学を訪れ、生薬標本室と薬用植物園を見学しました。生薬標本室では、身近なお菓子等に生薬成分が含まれていることを学び、また、普段目にするものがない生薬の標本の説明を受け、興味深く聞き入っていました。薬用植物園では、薬の元となる植物を実際に手にとって見たり、匂いを嗅いだりし、楽しく見学している様子が見られました。両施設の見学後は、本学の芝野 真喜雄准教授及び平田 佳之助教が児童との質疑応答に対応し、素朴な思惟質問に翻弄されながらも、楽しい時間を過ごしました。



■ 防災訓練の実施について

平成30年9月18日(火)に高槻市北消防署立会の下、防災訓練を実施しました。

12時07分にB棟2階生体分析学研究室第一研究室より地震に伴う火災が発生したとの想定で開始され、学生及び教職員参加による消火・通報連絡・避難誘導・警備・救護の各訓練を実施しました。

避難集合場所において、防火・防災管理者の総評と、高槻市北消防署員の講評をいただいた後、消火器等使用の実演、起震車による地震体験を行いました。

■メディアへの掲載・放送等(平成30年6月～)

掲載・放送日	掲載・放送内容	掲載・放送媒体	取材対応者・出演者・掲載者
平成30年9月2日	ドイツの内密出産制度に伴う妊娠相談を受けた後における母親の選択についての分析	熊本日日新聞 (熊本日日新聞社)	教授 阪本 恭子
平成30年9月30日	視聴者からの質問を受けた岡本雅之医師との対談 (医薬品と生体リズム、生活習慣の関係及び抗菌薬の適切な服用方法について)	ラジオ大阪 「Dr.masaのセルフケア最前線」	教授 宮崎 誠

※大阪薬科大学広報規程第6条により、報道機関による取材に応じた場合は、総務課へご連絡ください。

■人事

退職(平成30年12月31日付)
内部監査業務特別専門職員

金森 徹

委嘱(平成31年2月1日付)

共同研究センター長 永井 純也(教授)

任用(平成31年1月1日付)
学長

政田 幹夫(再任・任期2年)

招へい教授(平成30年9月1日付) 赤池 昭紀

招へい教授(平成30年11月1日付) 芹川 忠夫

併任(平成31年1月1日付)
研究科長

政田 幹夫(学長)

客員研究員(平成30年9月1日付) 赤池 昭紀

兼務(平成30年7月1日付)
健康管理支援室長

錦野 晴俊(学生課長)

客員研究員(平成30年11月1日付) 芹川 忠夫
森本 茂文

委嘱(平成30年7月1日付)

衛生管理者 重里 真季(健康管理支援室保健師)
メンタルヘルス推進担当者 重里 真季(健康管理支援室保健師)

客員研究員(平成30年12月1日付) 裏出 良博

客員研究員(平成31年2月1日付) 吉田 祥

委嘱(平成31年1月11日付)

アドミッション・オフィサー 藤田 純生(入試課長)

■寄付

池野 隆光(ウエルシア薬局株式会社会長)様

本学教育研究活動への寄付金 2,000万円(平成30年12月25日付)

■震災復旧支援募金(平成31年1月31日現在)

同窓会員他の皆様(152名) 278万9,784円

教職員の皆様(52名) 222万2千円

～貴重なご寄付・ご支援金をお寄せくださいました皆様方に厚く御礼申し上げます～



フロムLibrary

■中学生職業体験記

本学では、毎年高槻市内の中学校の職業体験学習について、積極的に協力させていただいていますが、今年度は10月25・26日に高槻市立阿武山中学校、11月14～16日に高槻市立第6中学校、11月27・28日に高槻市立第9中学校の職場体験学習の生徒さんを受け入れました。

中学生ということで、ジェネレーションギャップはもちろんのことですが、中にはとても大人びた生徒さんもいて、仕事に対する真摯な姿勢に圧倒されることもしばしばです。

今回、職場体験に来られた中学生のうち、1人の生徒さんの感想文を掲載します。

(後日ではなく、2日間の体験を終えたその場で書いてもらいました!)

「大阪薬科大学図書館での職業体験」

去年の11月27日と28日の2日間、大阪薬科大学の図書館で職業体験とは違うものについて知ることができました。初日は緊張感あふれる本棚の整理や返却がうまくいかず、本の整理作業や読書作業では手際よく進められ、自分たちも一生懸命頑張ることができました。2日目ともなると手にも慣れ、大学生の本の紹介をするボード作業なども行っていました。楽しく本に関わり合っている大学生の姿、大学内の先生の姿、職員の方々の姿なども見えて、1日2日、職業体験学習を行えました。知ることができたこの2日間は、本当に初めどうだった。

■多目的室オープン

かねてからお知らせしていたように、図書館4階のAV利用室を改修し、「多目的室」として11月に新しくオープンしました。

多目的室には、可動式の机・椅子、電子黒板、ホワイトボード等を備え、セミナー、グループワーク、ミニシアター、クラブ活動の動画確認等々に利用できます。ノートパソコンの貸出しも行っていますので、どうぞ大いに活用してください。



こちら広報室

■阿武山 四季折々

自然に恵まれた環境は、大阪薬科大学の特長の1つです。

緑豊かな阿武山に抱かれたキャンパスでは、四季の移り変わりを実感しながら勉学に励むことができます。



■献血者の推移

年2回、大学構内において献血を実施していますが、献血者の人数が減少傾向にあります。

医学が進歩した現代においても、人間の生命を維持するために欠くことのできない血液は人工的に造ることはできません。現在の医療現場では必要とされる血液製剤の数が不足していますので、皆さんのご協力をお願いします。

※受付数は、受付時の検査で血液の比重不足等により献血できなかった人を含んだ人数です。

実施日	200cc	400cc	合計
H30.11.3(土)	1	17	18人
(受付数)			
H30. 5.11(金)	4	33	37人
(受付数)	(6)	(40)	(46)
H29. 9.19(火)	5	19	24人
(受付数)			(31)
H29. 5.12(金)	16	35	51人
(受付数)			(62)
H28. 9.15(木)	5	22	27人
(受付数)	(7)	(28)	(35)
H28. 5.13(金)	5	31	36人
(受付数)	(6)	(48)	(54)
H27.11.12(木)	7	29	36人
(受付数)	(9)	(40)	(49)

編集 後記

とうとう、ついに、平成の時代が終わりを告げることとなりました。とうとう、ついに2つの言葉を並べると、ネガティブなイメージとポジティブなイメージが混在していますが、メディアでの平成特集などでは「激動の時代」、「停滞の時代」、「動揺の時代」等、捉え方は様々でどちらかというとネガティブなイメージが強いようです。

人生の大半を平成の時代のなかで生きて来た私たちにとっては、万感の思いがありますが、皆さんにとっての平成はどんな時代だったのでしょうか。

平成の大阪薬科大学は、まさに激動の時代であったといえると思います。1995(平7)年の阪神・淡路大震災という未曾有の大災害に見舞われた翌年の平成8年、松原の地に別れを告げ、緑豊かなこの阿武山の地に全面移転を果たしました。その後、2004(平16)年には創立100周年という大きな節目を迎えます。2006(平18)年には薬学教育が6年制となり、その4年後には薬学共用試験が始まりました。2011(平23)年には、大学運営に死力を尽くされていた矢内原千鶴子理事長が現役で逝去され、舵取りを失った私たちは大きなショックを受けます。ですが、その想いを繋ぎ2016(平28)年、学校法人大阪医科大学と法人合併を果たし、学校法人大阪医科薬科大学として新たなスタートを切りました。

振り返ってみれば、大変なことばかりではありましたが、移転、

100周年、薬学教育6年制移行、法人合併等、滅多に経験することができない出来事の歴史の目撃者となれたことは、とてもしあわせなことでもあると思います。

大阪医科大学初代理事長の吉津度先生は医師であり、さらに大阪薬学校(後の大阪大学薬学部)出身の薬剤師でもあったと伺っています。大阪薬学校はもともと明治19年に大阪市東区伏見町に設立され、翌20年に道修町に設立された大阪薬舗学校と合併して大阪共立薬学校と改め、後には大阪市北区今井町へ移転し私立大阪薬学校となります。明治36年頃から大阪薬学校の教室を夜間の空いた時間に利用した講習会が開かれていましたが、明治37年に大阪薬学校が上福島へ移転することとなったため、夜間講習会の講師の一人であった平山松治氏が道修町の町会所を借り受け、平山氏が初代校主となり明治37年5月9日に大阪道修薬学校(男子夜間課程)を設立したのが大阪薬科大学の始まりです。大阪薬学校がなければ大阪道修薬学校が誕生することはない、今日ここに大阪薬科大学が存在することもなかったのです。

大阪薬科大学はそんなご縁に導かれるように高槻の地に移り、大阪医科大学と出会い、法人合併に至りました。このご縁を大切に、最大限に活用し、両大学の今後ますますの発展に繋げて行くことができれば先人の方々もさぞかし喜ばれることでしょう。

そして、新しい時代にはまた新たな未来に向けて出発することとなるでしょう。

(図書・情報課長 三角 智津)



ご意見・ご要望等連絡先メールアドレス

✉ kouhou@gly.oups.ac.jp メールタイトルに「学報」と明記してください。



薬用植物の紹介

ノイバラ (バラ科)

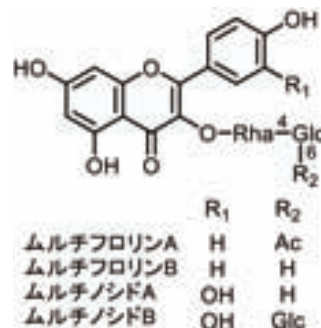
Rosa multiflora Thunb.薬用植物園長 教授 谷口 雅彦
薬用植物園 技術職員 忍穂 陽介

ノイバラは、北海道から九州までと中国、朝鮮半島などに分布する高さ2mほどの落葉樹で、葉は奇数羽状複葉で互生する。枝に鋭いとげをもつが、とげのないものも存在し、当園の物にはとげがない。若いうちは、とげがあるのだが数年たつとなくなっていく。4月～5月に白いほのかな香りのある、花を沢山つける。学名のmultifloraは、多くの花をつけることに由来している。秋から冬にかけて赤く熟した偽果をつけ、落葉してからは、この偽果がよく目立つ。偽果の内部に5～10個の果実(堅果)を有し、生薬には、偽果又は果実が用いられる。比較の日当たりの良い河川沿いや道路脇などの荒地にみかけられ、丈夫で繁茂しやすく、野生のバラの代表格である。しかし、近年はとげがあることから排除の対象になりやすく数を減らしている。観賞用バラの原種の一つであり、またバラの台木とされ、バラの手入れを怠ると顔を見せたり、いつの間にか繁茂していたりする。よく似た近縁種にテリハノイバラ(*R. luciae*(*wichuraiana*))という植物があるが、こちらは名前の通り葉に光沢がある。また、生育場所が海側に分布

しており、見分けることができる。

中国の三大古典書の一つである神農本草経の上品に『営實(薔薇)』として収録され、また、日本薬局方には、ノイバラの偽果又は果実がエイジツ(営実)として収載されている。しかし、現在、中国ではあまり用いられず、日本でも漢方用としては用いられておらず、瀉下薬として家庭薬に配合されている。

含有成分は、フラボノイド配糖体としてマルチフロリンA、B、マルチノシドA、Bなどがあり、これらの内、糖部にアセチル基を有しているマルチフロリンAに強い瀉下作用が認められている。また、カロテノイドのリコピンなども含有している。



偽果



果実(堅果)

参考 「薬草カラー図鑑」(主婦の友社)
「原色日本薬用植物図鑑」(保育社)
「第十七改正日本薬局方解説書」(廣川書店)

2018年度 後期行事予定

2019年		
3月	9日(土)	学部及び大学院 学位記授与式
	13日(水)	進級者発表
	25日(月)	第104回 薬剤師国家試験合格者発表

2019年度 前期行事予定表

2019年		
4月	2日(火)	入学式(学部・大学院)
	8日(月)	前期授業開始(1～6年次生)
	16日(火)	前期実習開始(1～4年次生)
5月	9日(木)	創立記念日(休業)
	10日(金)	新入生歓迎会(五月祭) 〔午後臨時休講〕
6月	1日(土)	学友会球技大会
7月	9日(火)	前期実習終了(1～4年次生)
	18日(木)	前期授業終了
	22日(月)～25日(木)	前期定期試験(6年次生)
	22日(月)～31日(水)	前期定期試験(1～4年次生)

大阪薬科大学公式Twitterを開始しました！

大阪薬科大学では、Twitter(ツイッター)を使用した情報発信を開始しました。Twitterをご利用の方は、ぜひ「フォロー」をお願いいたします。
大阪薬科大学公式Twitter (アカウント名:@OUPS_PR)